

案内

第22回 日本救急看護学会 学術集会 [Web 開催]

開催期間：12月1日(火)～12月31日(木)
テーマ：危機の時代と救急看護
プログラム：会長講演「危機の時代と救急看護」作田裕美(大阪市立大学大学院看護学研究科)／特別講演1「看護の開示——危機は透明化のチャンス」坂本すが(東京医療保健大学医療保健学部)／2「『コロナ禍』における『人災』の構造と、日本の脆弱性の本質」藤井聡(京都大学大学院工学研究科)／教育講演1「今だからこそ考える『人権』」谷口真由美(大阪芸術大学)／2「人生100年時代を働く女性のライフコース——多様な選択肢とwell-being」斧出節子(京都華頂大学現代家政学部)／3「大阪の『あいりん地区』の変容と今後の課題」福原宏幸(大阪市立大学)／4「救急初期診療における臨床推論の実際」溝端康光(大阪市立大学大学院医学研究科)／5「コロナ・パンデミックは都市災害だ——感染症の専門家だけでは制御不可能」河田恵昭(関西大学社会安全学部社会安全研究センター)／6「救急医療における看護師の危機対応能力」木澤見代(日本大学病院看護部)／7「人口構造・社会環境の変化と医療提供体制改革」村上正泰(山形大学大学院医学系研究科)／8「生きることをつなぐ救急医療の現場で看護師がキャリアを積むということ」勝原裕美子(オフィスKAT-SUHARA)／9「重症熱傷の評価と管理」森田栄伸(島根大学医学部)／10「救急看護師が子ども虐待に出会ったとき」毎原敏郎(兵庫県立尼崎総合医療センター小児科周産期医療センター)／11「貧困・社会経済格差と不健康——医療利用の背景をふまえた多面的支援」松田亮三(立命館大学産業社会学部)／12「エネルギー環境問題の現段階——人間社会への影響と政策」大島堅一(龍谷大学政策学部)／シンポジウム1「救急看護と二次的トラウマ」川谷陽子(愛知医科大学病院高度救命救急センター)、関根剛(大分県立看護科学大学看護学部)、武用百子(和歌山県立医科大学看護キャリア開発センター)／2「都市の貧困と健康問題・救急医療」奥村晴彦(大阪社会医療センター付属病院)、田熊清継(川崎市立川崎病院救急救急センター)、森亮太(杉浦医院)／3「外国人受け入れ政策——外国人労働者の就労問題 健康問題」室伏謙一(室伏政策研究室)、大谷則子(和洋女子大学看護学部)、

新垣智子(りんくう総合医療センター)／4「救急領域におけるタスクシフト・タスクシェアを考える」加藤正哉(和歌山県立医科大学)、増山純二(巨樹の会大学設置準備室)、秋田健太郎(神戸徳洲会病院)／パネルディスカッション1「救急看護の今とこれから」高野裕子(和歌山県立医科大学附属病院)、井上佳世(大阪市立大学医学部附属病院救命救急センター)、宮原めぐみ(ベガサス訪問看護ステーション)、嶋田安希(天津赤十字病院高度救命救急センター)／2「限界集落の健康問題と救急医療」杉岡秀紀(福知山公立大学地域経営学部)、岡裕也(掛斐川町春日診療所)、岩井恵子(関西医療大学保健看護学部)、中村陽子(龍谷大学文学部)／3「119番の危機」稲村あづさ(北野病院看護部)、小田浩文(大津市消防局)、山本啓雅(大阪市立大学大学院医学研究科)、阿部雅美(日本赤十字社和歌山医療センター看護部)／4「救命のその後」安田冬彦(洛和会音羽病院救命救急センター)、狭川普文(華嚴宗大本山東大寺)、太田裕子(大阪医療センター医療福祉相談室)、阿部美佐子(大阪市立大学医学部附属病院看護部)／他
参加費：(プログラム集合む) 会員1万1000円、非会員1万3000円、学生3000円
参加登録締切：12月31日(木) 正午
参加登録方法：下記Webサイトより
<https://site2.convention.co.jp/jaen22/>
問い合わせ先：[運営事務局]
〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋4-4-7 京阪神淀屋橋ビル2F 日本コンベンションサービス内
TEL: 06-6221-5933
FAX: 06-6221-5939
E-mail: jaen22@convention.co.jp
[学術集会事務局] 大阪市立大学大学院看護学研究科 がん・急性看護学領域
〒545-0051 大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-17
TEL: 06-6645-3593

案内

第40回 日本看護科学学会 学術集会 [Web 開催]

開催期間：[オンデマンド配信] 12月1日(火)～12月25日(金)
テーマ：看護科学のImplementation
プログラム：会長講演「社会実装される看護科学」萱間真美(聖路加国際大学)／JANS40周年記念 理事会企画「Competencies for Becoming a Nurse Scientist」

William L. Holzemer (JNNS Editor in Chief RN, Ph.D, FAAN / ラトガース大学)／教育講演「質的研究方法の実装と看護科学の発展」木下康仁(聖路加国際大学)「Using "Best Practices" in Mixed Methods Research」John W. Creswell (ミシガン大学)「Using artificial intelligence to uncover hidden power of nursing data to improve patient outcomes」Maxim Topaz (コロンビア大学病院)「マグネット認証への旅」鈴木千晴(聖路加国際病院)／シンポジウム1「災害復興に実装される看護科学」神原咲子(高知県立大学)、石田千絵(日本赤十字看護大学)、佐々木亮平(岩手医科大学)／2「医療における当事者・家族意思決定支援の実装」大坂和可子(慶應義塾大学)、青木裕見(聖路加国際大学)、家吉望み(東京有明医療大学)／3「看護学と薬理学との新たな融合・発展をめざして——何が求められ、何ができる」(共催：日本薬理学会)柳田俊彦(日本薬理学会、宮崎大学)、村山陵子(東京大学)、高橋有里(岩手県立大学)、瀬戸奈津子(関西医科大学)／4「国際学会オーラルプレゼンテーションへの第一歩」Alan Lefor (自治医科大学)、清水裕子(東京女子医科大学)、高井ゆかり(群馬県立県民健康科学大学)／5「Next-generation knowledge development approach through team science」Naoki Yoshinaga (University of Miyazaki)、Gojiro Nakagami (The University of Tokyo)、Yoko Shimpuku (Hiroshima University)／6「看護行為の開発ならびに標準化のプロセス 学会主導看護ケアガイドライン作成プロジェクトの紹介」須釜淳子(日本看護科学学会看護ケア開発・標準化委員会)、佐藤正美(下部消化管術後患者の長期的排便障害のケアガイドライン構築のためのアセスメントガイドラインの作成チーム)、佐藤和佳子(高齢者排尿誘導ガイドラインチーム)／7「看護科学におけるImplementation Researchの展望」Mark Toles (ノースカロライナ大学)、島津太一(国立がん研究センター)、山川みやえ(大阪大学)／JANA(日本看護学会協議会)との共同セミナー「日本学術会議提言」『『地元創成』の実現に向けた看護学と社会との協働の推進」南裕子(日本学術会議連携会員／神戸市看護大学)、綿貫成明(日本学術会議連携会員／国立看護大学校)、西村ユミ(日本学術会議会員／東京都立大学)、菱沼典子(日本学術会議連携会員／三重県立看護大学)／他
※オンデマンド配信の詳細は文末にある

Webサイトより
参加費：会員1万1000円、非会員1万4000円、学生*¹⁾無料
*1「学生」は、看護基礎教育課程に在籍する者、学生証を提示
参加登録締切：[クレジットカード払い]
12月23日(水) 正午
申込方法：下記Webサイトの参加登録ページより
<https://site2.convention.co.jp/jans40/registration/>
問い合わせ先：[学術集会事務局]
〒104-0044 東京都中央区明石町10-1
聖路加国際大学
[運営事務局] 日本コンベンションサービ
ス(株) 〒100-0013 東京都千代田区
霞が関1丁目4-2 大同生命霞が関ビル14
階
TEL: 03-3508-1214
FAX: 03-3508-1302
E-mail: jans40@convention.co.jp
<https://site2.convention.co.jp/jans40/>

案内

第25回聖路加看護学会 学術大会 [Web開催]

開催日：2021年2月20日(土)
配信期間：2月20日(土)～3月5日(金)
テーマ：すべてのひとの発達に関わる看護——その人らしい豊かな経験を支える
プログラム：会長講演「その人らしい豊かな経験を支える看護——発達への関わり」
平林優子(信州大学学術院医学保健学域保健学系)／教育講演「アタッチメントの生涯における機能——研究的視点から」久保田まり(東洋英和女子大学大学院)／特別講演「どんな人もそのひとらしくやりたいことを」戸枝陽基(社会福祉法人むそう)／シンポジウム(ライブ配信予定)「豊かに生きるための意思決定支援」御手洗幸子(NTT東日本関東病院)、落合亮太(横浜市立大学)、高橋美賀子(聖路加国際病院)／ミニ講座「システムティックレビューを学ぼう」大田えりか(聖路加国際大学大学院)／「赤ちゃんから高齢者までの針穿刺に伴う苦痛緩和」吉田奏(聖路加国際病院)／「認知症とともに生きる人を支える」滝口美重(聖路加国際病院)／「あなたに最適なマスク(仮)」大西一成(聖路加国際大学大学院公衆衛生学研究科)／「COVID-19に向き合う感染対策(仮)」坂本史衣(聖路加国際病院)

参加費：会員5000円、非会員6000円、学生3000円
※学生は大学院生まで。学生証を提示(下記E-mail宛にPDFで送信)
参加登録方法：下記ホームページの事前参加登録フォームより。郵便振替用紙に住所、氏名、会員は会員番号を記入し、ゆうちょ銀行口座記号番号：00570-4-53768
口座名称「ダイニジュウゴカイセイルカカンゴガツカイガクジュツタイカイ」に払い込む
他銀行からは、ゆうちょ銀行 ○五九店当座 0053768へ
参加登録締切：1月29日(金)(参加費払い込み含む)
問い合わせ先：[事務局]
〒104-0044 東京都中央区明石町10-1
聖路加国際大学看護学部小児看護学
E-mail: 2020slnr25@slcn.ac.jp
URL: <https://slnr25.net/>

案内・募集 [演題]

第1回 理論看護研究会 [Web開催]

日程：2021年3月6日(土) 9:00～16:30
テーマ：つくる・つかう・つたえる
プログラム：「Development of Situation Specific Theory (状況特定理論の構築)」Eun-Ok Im (エモリー大学)／「こどもセルフケア看護理論の構築」片田範子(関西医科大学)／「状況特定理論構築にチャレンジ」坂下玲子(兵庫県立大学)／他
参加費：一般5000円、学生3000円(学生は大学生と看護学生を指す)
演題募集：6つの形式を用意し、広く演題を募集します。
[つたえる (Description)] 臨床で活躍されている看護師や実習中の体験を言葉にしたい学生向け
A 看護現象の言語化 (→演題項目A)
[つかう (Use)] 高度看護実践に携わる看護師や専門看護師、理論と実践をつなぐ看護研究者向け
B-1 看護実践の説明 (→演題項目B-1)
B-2 理論に基づく看護実践 (→演題項目B-2)
B-3 理論に基づく看護研究 (→演題項目B-3)
[つくる (Development)] 学術知識の新たな発展に寄与する看護研究者向け
C-1 概念分析 (→演題項目C-1)
C-2 看護理論や概念の構築 (→演題項目

C-2)
詳細な情報は下記Webサイトの「演題項目」をご確認ください。
<http://theoretical-ns.umin.jp/abstracts/index.html>
参加登録締切：2021年1月29日(金) 17:00
申込方法：[演題申込] 該当の抄録フォームをダウンロードし、必要事項を記入してメール添付にて送付
E-mail: theoretical_ns-as@umin.ac.jp
[参加申込] 下記Webサイトの参加登録ページより
<http://theoretical-ns.umin.jp/registration/index.html>
問い合わせ先：運営事務局
あゆみコーポレーション
E-mail: theoretical_nu-as@umin.ac.jp

※掲載している情報は11月30日時点の内容です。学会開催の有無など、最新の情報は主催元にご確認ください。